

令和4年度 専門分野

科目名	老年看護学	単位(時間)	5(165)	27期生	DP
担当講師名	専任教員 他		1～3年次		1・3
科目設定理由	<p>老年看護学は、様々な健康障害をもつ高齢者に対して、もてる力を活用しながら対象の思いを尊重し、その人らしい生活の再構築ができるように支援するための看護を学ぶことを目的に設定しています。</p> <p>高齢者の理解Ⅰでは、高齢者体験を通して老年期にある対象の特徴、高齢社会における保健・医療・福祉サービスや看護の役割など老年期の対象に対する基礎的知識と対象を生活機能の観点からアセスメントするために必要な老年看護の概念について学びます。</p> <p>高齢者の理解Ⅱでは、健康障害をもつ高齢者の主な疾患と症状について理解を深めるとともに、様々な健康状態にある高齢者の看護を学びます。</p> <p>高齢者に対する看護では技術では、これまでの既習学習を活かし、高齢者の特徴をふまえ生活機能の観点から対象を捉え、対象に必要な看護を実践する方法について学習します。</p>				
科目構成	科目名	高齢者の理解Ⅰ	高齢者の理解Ⅱ	高齢者に対する看護技術	
	単位時間	1単位 15時間	1単位 30時間	1単位 30時間	
	学習範囲	1. 高齢者看護の基盤 2. 高齢者をとりまく社会と倫理的課題 3. 高齢者の理解	1.健康障害(疾患・主な症状)をもつ高齢者への看護	1. 高齢者のヘルスアセスメント 2. 高齢者の生活を整える技術	
	科目名	高齢者看護実習			
	単位時間	2単位 90時間			
	実習のねらい	<p>「高齢者看護実習」は、老年看護学実習は、加齢に伴う変化とそれらの変化が高齢者の生活に及ぼす影響を捉えるとともに、実際に高齢者が療養・生活する多様な場で社会や他者からどのような支援を受けているのか学び高齢者に対する看護を理解する実習です。</p> <p>「介護老人保健施設実習」では、認知症の高齢者に対する関わり方や入所者の方がその人らしく施設で生活し「老いを生きる」ために看護師がどのように支援を行っているのか知ることができるでしょう。</p> <p>「介護老人福祉施設実習」では、入所者の特徴を理解するとともに日常生活の支援や関わり方、入所者の方がその人らしく「老いを生きる」ためにどのような支援を行っているのか知ることができるでしょう。</p> <p>「外来実習」では、高齢者がその人らしく地域で生活し続けることができるように、継続的な治療や看護をどのように行っているのか、外来に訪れた高齢者(家族)に対する支援について多職種連携の視点からも必要な看護を考えられるといいでしょう。</p> <p>「病棟実習」では、加齢や環境の変化が生活に及ぼす影響を捉え、健康障害を抱えながらもその人らしく生活するためにはどのように支えていくのか「生活」の視点から必要な看護を考え、そして思いを捉えることが大切となります。患者がその人らしい日常生活を安全かつ穏やかに過ごすことができるような看護を目指しましょう。</p> <p>高齢者との関わり方に戸惑うかもしれませんが、今まで学習したことを基盤として高齢者の個別性の尊重、自尊心の尊重、人権と権利擁護について考えながら、さまざまな健康レベルにある高齢者と積極的に関わり、高齢者の理解につなげていきましょう。そして、高齢者の加齢に伴う変化と高齢者が生きてきた生活や価値、信念に着目し、高齢者が望む(あるいは望むであろう)人生の統合に向けてその人らしく「老いを生きる」ことを支える看護について考えていきましょう。</p>			